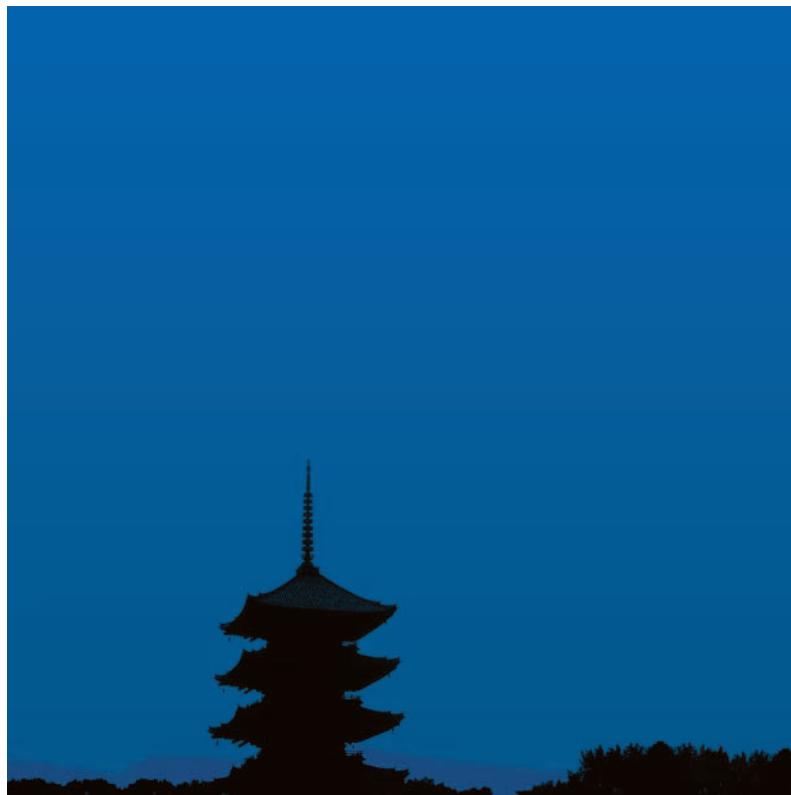


第10期 中間株主通信

〔 2007年4月 1日から
2007年9月30日まで 〕



フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、アメリカ経済の減速懸念など先行きの不安要因はあるものの、企業の生産や輸出は堅調に推移しており、景気は緩やかな回復を続けております。

一方、新規上場市場においては、新規上場企業数は前年度に比べ大幅に落ち込み、また、上場初値が公募割れする企業も出るなど軟調な状況が続いております。

このような背景の中、当社は地域型ファンドを立ち上げたほか、前期に設立した大型ファンドの募集を引き続き行うなど、投資資金となるベンチャーファンドを拡充してまいりました。また、それに伴う投資地域の拡大等によって、投資案件数は順調に推移しております。

しかしながら、新興市場の低迷や審査の厳格化により、当中間期において投資先企業の上場の延期が相次ぎました。また、営業投資有価証券残高の増加傾向に伴い、当中間期において投資損失引当金を大幅に積み増しました。

その結果として、当中間期純損益が赤字となってしまったことを深くお詫び申し上げます。当社と致しましてはこの結果を重く受け止め、一刻も早く株主の皆様へ利益を還元できるよう尽力してまいります。

当社の活動をより深くご理解いただき、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

2007年12月

代表取締役社長 川分陽二

連結決算について

当社では2007年3月中間期より、当社が管理運営する投資事業組合はその支配力が大きいとして、全ての投資事業組合を連結の範囲に含めることとしております。

連結子会社数：31組合

(当社が管理運営している投資事業組合すべて)

出資約束金総額：34,248百万円

(うち、外部出資者の持分 27,504百万円)

会計方針の主な相違点

ファンドを連結することにより外部出資者の持分が連結貸借対照表、連結損益計算書に含まれます。

■ 貸借対照表

- 自己資本比率が低下します。外部出資者の持分が「純資産」に含まれますが、「自己資本」は個別と同額のみであるためです。

■ 損益計算書

- 外部出資者の持分が売上や売上原価に含まれるため、損益にも外部出資者の持分が含まれることになります。外部出資者の持分である損益は、「少数株主損益」として控除されます。
- 投資事業組合等管理収入が内部取引とみなされ、売上に計上されなくなります。結果的には、他の損益とあわせて、「少数株主損益」で調整されます。

※本資料「事業活動」での説明におきましては、当社の業務をよりご理解いただくため、主に個別財務諸表での数値を用いてご説明させていただきます。

個別財務諸表と連結財務諸表との差異について

中間貸借対照表

(単位：百万円)

	個 別	連 結	差異の理由
流動資産	3,999	21,697	
現金及び預金	1,254	6,791	個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいましたが、連結ではファンド全体の資産を取り込みます。
営業投資有価証券	2,954	16,645	
投資損失引当金	△ 283	△ 1,780	
固定資産	227	227	ファンドには固定資産がないため、変動はありません。
流動負債	1,775	2,408	ファンドの未払金などの負債を、個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいましたが、連結ではファンド全体で取り込みます。
固定負債	377	377	
純資産	2,075	19,140	
少数株主持分	—	17,000	ファンドの当社持分以外の外部出資者持分を少数株主持分として計上します。
資産合計	4,227	21,925	
自己資本比率	49.1%	9.8%	少数株主持分は自己資本比率の計算に入らないため、連結では自己資本比率が大幅に下がります。

中間損益計算書

(単位：百万円)

	個 別	連 結	差異の理由
売上高	395	107	
投資事業組合等管理収入	346	—	ファンドからの管理報酬・成功報酬は、連結では内部取引となるため相殺されます。
営業投資有価証券売上高	8	66	個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいましたが、連結ではファンド全体の売上高を取り込みます。
売上原価	571	1,600	
営業投資有価証券売上原価	14	109	個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいましたが、連結ではファンド全体の原価・引当金繰入を取り込みます。
投資損失引当金繰入額	127	1,074	
その他の売上原価	430	415	ファンドの管理報酬費用等について、連結では内部取引となるため相殺されます。
売上総利益(△損失)	△ 176	△ 1,492	
販売費及び一般管理費	163	179	ファンドの監査費用などの費用が、連結ではファンド全体の金額を取り込むこととなります。
営業利益(△損失)	△ 339	△ 1,671	
経常利益(△損失)	△ 365	△ 1,698	
税引前中間純利益(△損失)	△ 365	△ 1,697	
少数株主利益(△損失)	—	△ 1,442	上記よりファンドの当社持分以外の外部出資者持分にかかる損失を控除します。
中間純利益(△損失)	△ 371	△ 260	純損益の額は、基本的に個別と連結で一致します。(今期のすれは、当社決算時期とファンド決算時期のすれによるもの)

会計方針の変更

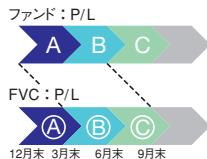
投資事業組合への出資金に係る会計処理

当社が管理・運営する投資事業組合は、決算日が当社決算日と異なるため、従来の中間決算では投資事業組合の1月～6月(6ヶ月)の収益及び費用を当社の出資持分割合に応じて、FVC本体の中間決算(4月～9月)に取り込んでいました。

当社では前期からの連結決算の導入もあり、この会計期間のずれをなくすよう会計処理を変更しました。当中間決算におきましてはその移行期間として、投資事業組合の1月～9月(9ヶ月)の収益及び費用を、当社の出資持分に依りてFVC本体の決算に計上しています。

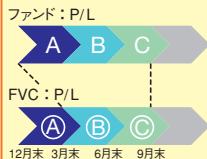
【従来の中間決算】

ファンドの1月～6月(6ヶ月)の収益及び費用をFVC本体の決算に取り込む



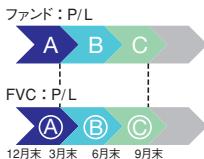
【当期の中間決算】

ファンドの1月～9月(9ヶ月)の収益及び費用をFVC本体の決算に取り込む



【次期以降の中間決算】

ファンドの4月～9月(6ヶ月)の収益及び費用をFVC本体の決算に取り込む



会計方針の変更による主な影響

個別

中間貸借対照表

現金及び預金	121,464千円	増加
営業投資有価証券	199,259千円	減少
投資損失引当金	119,251千円	減少

中間損益計算書

売上高	4,570千円	増加
売上原価	166,427千円	増加
販売費及び一般管理費	224千円	増加
営業損益	162,082千円	減少
経常損益	163,672千円	減少
中間純損益	163,672千円	減少

連結

中間貸借対照表

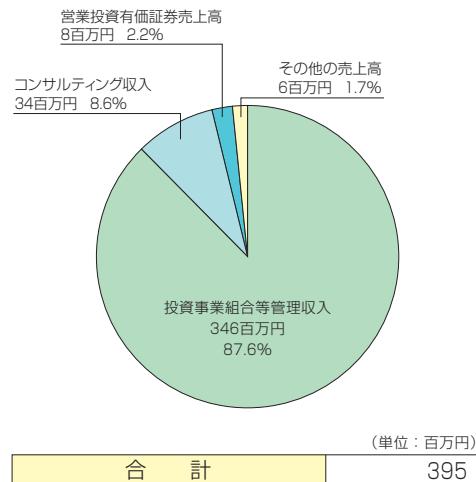
現金及び預金	変化なし
営業投資有価証券	変化なし
投資損失引当金	変化なし

中間損益計算書

売上高	7,111千円	増加
売上原価	変化なし	
販売費及び一般管理費	変化なし	
営業損益	14,416千円	減少
経常損益	14,416千円	減少
中間純損益	14,416千円	減少

事業活動

売上高の内訳(個別)



■ 営業投資有価証券売上高

当中間期における営業投資有価証券売上高は、前期に株式上場した企業の株式の売却等により、8百万円になりました。

■ 投資事業組合等管理収入

当中間期における投資事業組合等管理業務による売上高は、運営する投資事業組合の総額が増加したことにより、346百万円になりました。

■ コンサルティング収入

当中間期におけるコンサルティング業務による売上高は、34百万円となりました。これは主に、地方自治体による産業振興に対するコンサルティング業務や、他社が運営するファンドに対する投資顧問契約に基づく投資助言業務などによって構成されております。

投資活動にかかる損益（個別）

当中間期において、投資先企業の株式上場はございませんでしたが、前期に株式上場をした投資先企業の株式の売却や、未上場株式の売却等により当中間期の営業投資有価証券の売上高は8百万円になりました。

また、営業投資有価証券残高が増加傾向にあり、それに伴い大幅な投資損失引当金を計上いたしました。

■ 投資活動にかかる損益（個別）

（単位：千円）

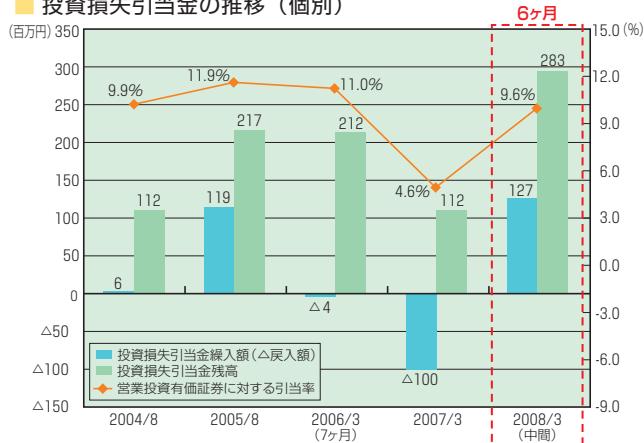
	当中間期 自2007年4月1日 至2007年9月30日	前中間期 自2006年4月1日 至2006年9月30日	前 期 自2006年4月1日 至2007年3月31日
営業投資有価証券 売上高	8,777	124,241	151,881
営業投資有価証券 売上原価	14,177	163,957	236,949
投資損失引当金繰入額 (△戻入額)	127,436	△106,958	△100,964
投資活動にかかる損益	△132,837	67,242	15,896

投資損失引当金（個別）

当社は、投資先企業の実情を個別に勘案し投資損失引当金を計上しておりますが、当中間期においては、投資損失引当金繰入額は127百万円、投資損失引当金残高は283百万円となりました。なお、投資損失引当金戻入額と繰入額は相殺し、純額表示しております。

また、当中間期末における営業投資有価証券に対する投資損失引当金の割合は9.6%となりました。

■ 投資損失引当金の推移（個別）



投資活動の状況

当中間期において当社が管理・運営する投資事業組合からの投資実行は、30社、1,723百万円となりました。当中間期における投資社数は、投資案件数が順調に推移したため、前年同期とほぼ同様の数値となりました。しかし、大型ファンドが継続募集中であるため、一社あたりの投資金額が伸び悩みました。そのため、当中間期における投資額は前年同期に比べて減少しました。

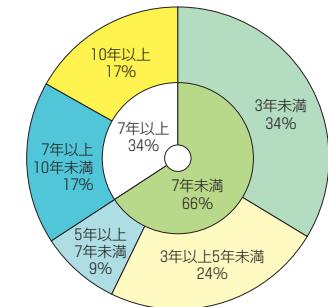
その結果、当中間期末における投資残高は220社、16,645百万円となりました。

■ 投資実績推移

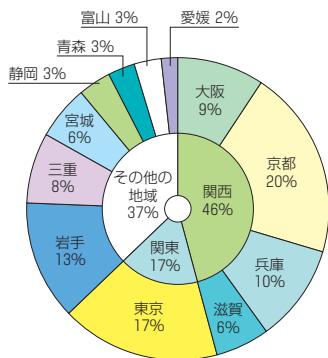


2008年3月期(当上期)投資実績 (2007年4月~2007年9月)

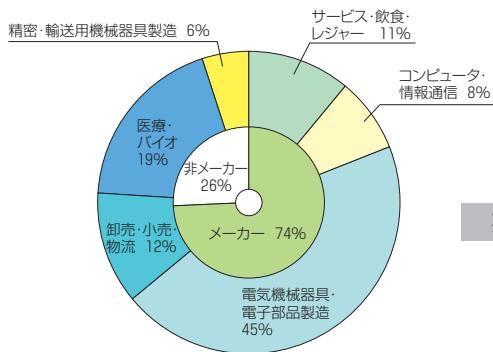
● 当期投資金額 1,723百万円 ● 投資社数 30社



設立年別分類



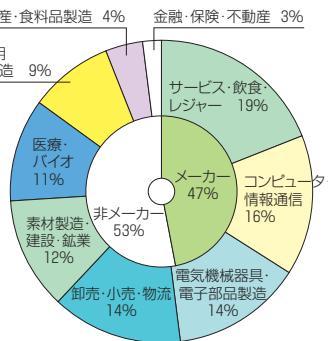
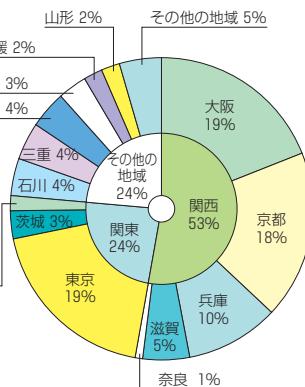
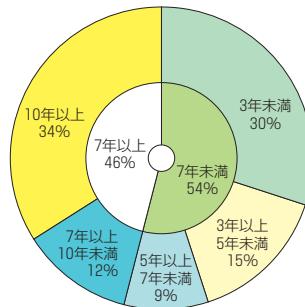
地域別分類



業種別分類

投資残高ポートフォリオ (2007年9月末時点)

● 投資残高金額 16,645百万円 ● 投資残高社数 220社



※ グラフの各項目における構成比(%)は、小数点以下を四捨五入して算出しています。

運用ファンドの状況

当中間期において、「あおりクリエイティブファンド投資事業有限責任組合」を新規に設立しました。また、既存の投資事業組合の出資約束金総額が増加したことにより、当中間期における投資事業組合の増加額は2,535百万円となり、当中間期末現在の当社が管理・運営する投資事業組合(子ファンドを除く)は28組合、総額34,008百万円となりました。

■ ファンド設立・増額状況

ファンド名	出資約束金総額	内容
あおりクリエイティブファンド	22.15億円	地域型ファンド
合計	22.15億円	
ファンド名	増加した出資約束金額	出資約束金総額
FVCグロース二号ファンド	1.0億円	39.0億円
堺地域振興ファンド	2.2億円	8.7億円
合計	3.2億円	

■ ファンド組成の推移(子ファンドを除く)

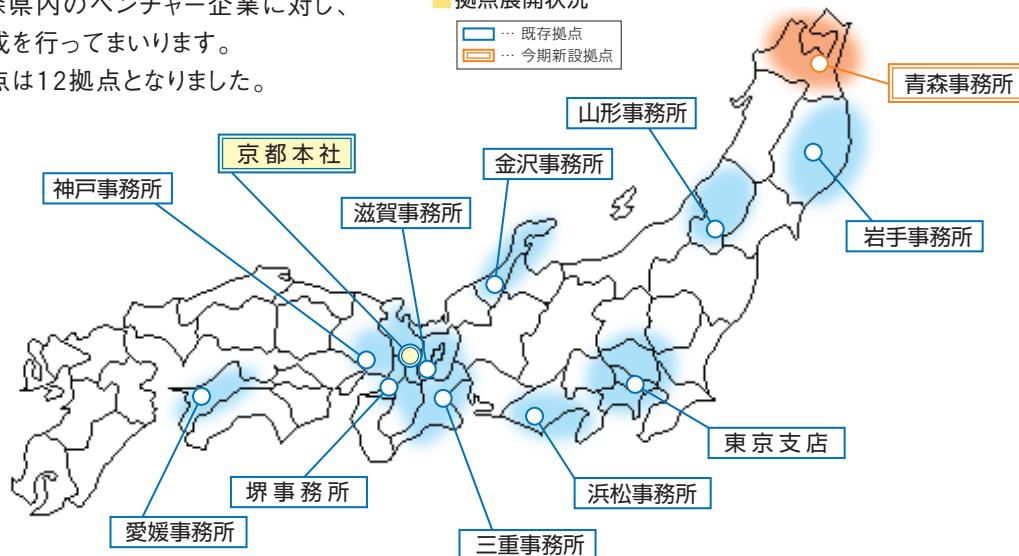


拠点展開

当中間期には新しく青森市に青森事務所を設立しました。当事務所では青森県内のベンチャー企業に対し、地場に密着した投資育成を行ってまいります。

これで当社の投資拠点は12拠点となりました。

■ 拠点展開状況



個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 中 間 期 末 2007年9月30日現在	前 期 末 2007年3月31日現在
(資産の部)		
I 流 動 資 産	3,999,980	3,689,611
II 固 定 資 産	227,820	233,654
有 形 固 定 資 産	27,225	28,318
無 形 固 定 資 産	52,378	58,624
投 資 そ の 他 の 資 産	150,701	149,197
貸 倒 引 当 金	△ 2,485	△ 2,485
資 産 合 計	4,227,800	3,923,265
(負債の部)		
I 流 動 負 債	1,775,072	1,004,877
II 固 定 負 債	377,130	469,484
負 債 合 計	2,152,203	1,474,361
(純資産の部)		
I 株 主 資 本	2,072,821	2,443,851
資 本 金	1,887,211	1,887,167
資 本 剰 余 金	601,661	601,618
利 益 剰 余 金	△ 413,757	△ 42,640
自 己 株 式	△ 2,293	△ 2,293
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	2,775	5,051
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	2,775	5,051
純 資 産 合 計	2,075,597	2,448,903
負 債 純 資 産 合 計	4,227,800	3,923,265

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 中 間 期 自 2007年3月31日 至 2007年9月30日	前 中 間 期 自 2006年3月31日 至 2006年9月30日	前 期 自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日
I 売 上 高	395,783	456,889	892,955
II 売 上 原 価	571,954	274,629	638,206
売上総利益又は売上総損失(△)	△ 176,171	182,259	254,748
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	163,038	141,020	304,634
営業利益又は営業損失(△)	△ 339,210	41,239	△ 49,885
IV 営 業 外 取 益	1,770	2,385	6,250
V 営 業 外 費 用	28,001	5,001	22,678
経常利益又は経常損失(△)	△ 365,441	38,624	△ 66,313
VI 特 別 利 益	301	498	647
VII 特 別 損 失	-	-	506
税引前中間(当期)純利益又は 税引前中間(当期)純損失(△)	△ 365,139	39,122	△ 66,173
法人税、住民税及び事業税	5,977	3,763	8,484
中間(当期)純利益又は 中間(当期)純損失(△)	△ 371,116	35,358	△ 74,657

株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株 主 資 本				評価・換算差額等	純資産合計
	資 本 金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金				
2007年3月31日残高	1,887,167	△ 42,640	△ 2,293	2,443,851	5,051	2,448,903
当 中 間 期 中 の 変 動 額						
新 株 の 発 行	43			86		86
中 間 純 損 失		△ 371,116		△ 371,116		△ 371,116
株主資本以外の項目の当中間期中の変動額(純額)					△ 2,275	△ 2,275
当 中 間 期 中 の 変 動 額 合 計	43	△ 371,116	-	△ 371,030	△ 2,275	△ 373,306
2007年9月30日残高	1,887,211	△ 413,757	△ 2,293	2,072,821	2,775	2,075,597

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間期末 2007年9月30日現在	前 期 末 2007年3月31日現在
(資産の部)		
I 流 動 資 産	21,697,914	19,787,875
現金及び預金	6,791,694	5,208,403
営業投資有価証券	16,645,631	15,045,273
投資損失引当金	△ 1,780,141	△ 705,624
その他の他	40,828	240,234
貸倒引当金	△ 98	△ 410
II 固 定 資 産	227,820	233,654
有形固定資産	27,225	28,318
無形固定資産	52,378	58,624
投資その他の資産	150,701	149,197
貸倒引当金	△ 2,485	△ 2,485
資 産 合 計	21,925,734	20,021,530
(負債の部)		
I 流 動 負 債	2,408,383	1,160,773
短期借入金	1,274,000	483,000
1年以内返済予定の長期借入金	189,310	196,560
預り金	806,676	322,772
賞与引当金	47,371	45,487
その他の他	91,025	112,953
II 固 定 負 債	377,130	469,484
長期借入金	302,950	394,480
退職給付引当金	31,251	25,850
その他の他	42,928	49,153
負 債 合 計	2,785,513	1,630,258
(純資産の部)		
I 株 主 資 本	2,139,560	2,400,357
資 本 金	1,887,211	1,887,167
資 本 剰 余 金	601,661	601,618
利 益 剰 余 金	△ 347,018	△ 86,135
自 己 株 式	△ 2,293	△ 2,293
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	352	△ 1,278
その他有価証券評価差額金	352	△ 1,278
III 少 数 株 主 持 分	17,000,307	15,992,194
純 資 産 合 計	19,140,220	18,391,272
負 債 純 資 産 合 計	21,925,734	20,021,530

■連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期 自2007年4月1日 至2007年9月30日	前中間期 自2006年4月1日 至2006年9月30日	前 期 自2006年4月1日 至2007年3月31日
I 売 上 高	107,691	767,312	1,020,767
II 売 上 原 価	1,600,011	599,978	1,430,577
売上総利益又は売上総損失(△)	△ 1,492,319	167,333	△ 409,810
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	179,486	152,128	320,273
営業利益又は営業損失(△)	△ 1,671,805	15,204	△ 730,083
IV 営 業 外 収 益	1,770	9,380	22,202
受取利息及び受取配当金	390	7,035	16,270
そ の 他	1,379	2,343	5,931
V 営 業 外 費 用	28,001	5,001	22,678
支 払 利 息	23,721	4,521	21,414
そ の 他	4,279	479	1,263
経常利益又は経常損失(△)	△ 1,698,036	19,583	△ 730,559
VI 特 別 利 益	272	67	—
VII 特 別 損 失	—	—	506
固定資産除却損	—	—	118
投資有価証券評価損	—	—	388
税金等調整前中間(当期)純利益又は税金等調整前中間(当期)純損失	△ 1,697,764	19,651	△ 731,066
法人税、住民税及び事業税	5,977	3,763	8,484
法人税等調整額	4	△ 173	△ 300
少数株主利益	△ 1,442,862	△ 2,671	△ 618,825
中間(当期)純利益又は中間(当期)純損失(△)	△ 260,883	18,732	△ 120,425

■ 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金		
2007年3月31日残高	1,887,167	601,618	△ 86,135	△ 2,293	2,400,357	△ 1,278	15,992,194	18,391,272
当中間期中の変動額								
新株の発行	43	43			86			86
当中間期純損失			△ 260,883		△ 260,883			△ 260,883
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額(純額)						1,631	1,008,113	1,009,745
当中間期中の変動額合計	43	43	△ 260,883	—	△ 260,796	1,631	1,008,113	748,948
2007年9月30日残高	1,887,211	601,661	△ 347,018	△ 2,293	2,139,560	352	17,000,307	19,140,220

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当中間期 自 2007年4月 1日 至 2007年9月30日	当中間期 自 2006年4月 1日 至 2006年9月30日	前期末 自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,527,693	△ 1,751,802	△ 4,747,738
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,098	△ 56,951	△ 90,432
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	3,114,082	4,484,912	5,241,387
IV 現金及び現金同等物の増減額	1,583,290	2,676,158	403,216
V 現金及び現金同等物の期首残高	5,208,403	4,805,187	4,805,187
VI 現金及び現金同等物の当中間期末(期末)残高	6,791,694	7,481,345	5,208,403

■ キャッシュ・フローの状況

当中間期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末より1,583百万円増加し、6,791百万円となりました。当中間期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の減少は、1,527百万円になりました。これは、主に営業投資有価証券の投資1,723百万円を行ったことによるものです。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、3百万円となりました。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は、3,114百万円となりました。これは、主にファンド組成に伴う組合員からの出資2,428百万円によるものです。

会社の概要 (2007年9月末現在)

商号 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
 設立 1998年9月11日
 資本金 18億8,721万円
 従業員数 71名
 事業所 本社

【住所】 〒604-8152
 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル^{てあらいぬずらう}手洗水町659番地
 烏丸中央ビル8階

〔 阪急(京都線)烏丸駅22番出口徒歩2分
 市営地下鉄(烏丸線)四条駅22番出口徒歩2分 〕

【電話番号】

管理本部	TEL. 075-257-2511 FAX. 075-211-1601	投資本部・ 育成支援本部・ 事業推進本部	TEL. 075-257-6656 FAX. 075-211-6965
------	--	----------------------------	--

東京支店 〒100-0006

東京都千代田区有楽町1丁目7番1号 有楽町電気ビル 北館8階
 Tel. 03-5288-5010 Fax. 03-5288-9000

山形事務所 〒990-0034

山形県山形市東原町3丁目10番10号 国井ビル203号
 Tel. 023-615-0235 Fax. 023-615-0236

浜松事務所 〒430-0946

静岡県浜松市中区元城町216番18号 浜松大同生命ビル7階
 Tel. 053-459-0390 Fax. 053-452-6812

滋賀事務所 〒520-0801

滋賀県大津市におの浜4丁目7番5号 オプテックスにおの浜ビル6階
 Tel. 077-510-1310 Fax. 077-510-1311

神戸事務所 〒650-0044

兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号
 神戸市産業振興センター8階
 Tel. 070-5656-9604 Fax. 078-360-5677

岩手事務所 〒020-0022

岩手県盛岡市大通3丁目2番8号 岩手県金属工業会館6階
 Tel. 019-606-3558 Fax. 019-606-3568

金沢事務所 〒920-0031

石川県金沢市広岡1丁目1番18号 伊藤忠金沢ビル8階
 Tel. 076-264-9311 Fax. 076-264-9312

三重事務所 〒514-0006

三重県津市広明町349番地の1 いけだビル5階D号
 Tel. 059-213-8912 Fax. 059-229-5112

堺事務所 〒590-0076

大阪府堺市堺区北瓦町1丁目3番17号 NBF堺東ビル4階
 Tel. 072-282-6651 Fax. 072-282-6652

愛媛事務所 〒790-0001

愛媛県松山市一番町1丁目15番2号 松山一番町ビル6階
 Tel. 089-915-3677 Fax. 089-913-2750

2007年6月1日に青森事務所を新設しました。

青森事務所 〒030-0802 青森県青森市本町1丁目2番20号 住友生命青森柳町ビル3階
 Tel. 017-731-3040 Fax. 017-722-0821



取締役および監査役 (2007年9月末現在)

代表取締役社長	川分陽二	専務取締役	大橋克己	常務取締役	木村美都
常務取締役	城下悦夫	取締役	中山淳	取締役	今庄啓二
取締役	金田泰明	取締役	井村博司	常勤監査役	岩坪安浩
監査役	岡部陽二	監査役	小川忠久	監査役	烏野伊蔵

株式データ (2007年9月末現在)

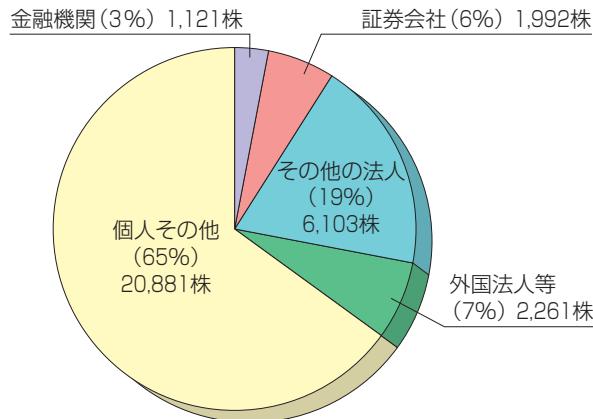
- ・当社が発行する株式の総数…… 85,000株
- ・発行済株式の総数 …………… 32,357.67株
- ・株主数……………1,636名

大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
川分 陽二	2,817 株	8.7 %
関西サービス株式会社	1,800 株	5.6 %
ゴールドマンサックスインターナショナル (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	1,690 株	5.2 %
藍澤証券株式会社	1,620 株	5.0 %
金田 泰明	1,217 株	3.8 %
小川 忠久	1,106 株	3.4 %
坂本 友群	794 株	2.5 %
金光 富男	580 株	1.8 %
鈴木 智博	496 株	1.5 %
谷野 光昭	465 株	1.4 %

注 1. 出資比率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
2. 当社は、2007年9月30日現在、自己株式を12.67株保有しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 定時株主総会 3月31日

剰余金の配当 期末 3月31日

中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒530-0004

(お問い合わせ先) 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話 0120-094-777 (通話料無料)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

野村證券株式会社 全国本支店

公 告 方 法 電子公告

当社ホームページ (<http://www.fvc.co.jp/>)

にて掲載

証 券 コ ー ド 8462

※株式関係のお手続用紙のご請求は、以下の株主名簿管理人の電話でも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-684-479

「個人投資家の皆様へ」ページを開設

当社のホームページでは、個人投資家の皆様に向けたページを掲載しております。当社の理念や業績の見方について詳しくご説明することで、株主の皆様へ当社のことをより詳しくご理解いただこうと、ご用意しました。

このページを通じて、当社へのご興味を深めていただけたら幸いです。ぜひご覧ください。

個人投資家の皆様へ ● <http://www.fvc.co.jp/ir/individual/index.html>

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上手洗水町659番地 烏丸中央ビル8階

TEL:075-257-2511 FAX:075-211-1601

<http://www.fvc.co.jp/> E-mail:fvc-kyoto@fvc.co.jp